



平成26年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年5月15日

上場取引所 東

上場会社名 日本農薬株式会社

コード番号 4997

URL <http://www.nichino.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 神山 洋一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部総務部長

(氏名) 飯島 豊和

TEL 03-6361-1400

四半期報告書提出予定日 平成26年5月15日

配当支払開始予定日

平成26年6月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第2四半期の連結業績(平成25年10月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第2四半期	35,061	25.1	8,392	37.7	8,349	41.9	5,635	44.0
25年9月期第2四半期	28,028	14.2	6,093	78.1	5,883	75.4	3,912	97.0

(注) 包括利益 26年9月期第2四半期 5,817百万円 (22.8%) 25年9月期第2四半期 4,736百万円 (120.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第2四半期	84.28	—
25年9月期第2四半期	58.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第2四半期	77,416		45,405			58.4
25年9月期	59,068		40,235			67.7

(参考) 自己資本 26年9月期第2四半期 45,181百万円 25年9月期 40,014百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	4.50	—	8.50	13.00
26年9月期	—	6.50	—	—	—
26年9月期(予想)	—	—	—	6.50	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年9月期の連結業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	56,000	17.6	8,900	19.5	8,800	23.2	5,800	23.0	86.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
(注)詳細につきましては、四半期決算短信(添付資料)3ページ「当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年9月期2Q	70,026,782 株	25年9月期	70,026,782 株
② 期末自己株式数	26年9月期2Q	3,185,566 株	25年9月期	3,143,864 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年9月期2Q	66,861,578 株	25年9月期2Q	66,930,546 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビューは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府の金融政策や経済対策の効果を背景に企業収益が改善し、設備投資や生産活動の増加がみられました。また、個人消費は一部に消費税率引き上げに伴う駆け込み需要もあり全体として増加傾向となるなど緩やかな回復基調で推移しました。

しかしながら、景気の先行きは米国の金融緩和縮小見通しの影響や新興国経済の成長鈍化など海外経済の下振れ懸念から依然として不透明な状況にあります。

このような状況下、当社グループは自社開発品目の普及拡販や海外事業の拡大を目指しました。当第2四半期連結累計期間の売上高は350億61百万円(前年同期比70億33百万円増、同25.1%増)となりました。利益面では増収効果に加えノウハウ技術料の増加もあり、営業利益は83億92百万円(前年同期比22億98百万円増、同37.7%増)、経常利益は83億49百万円(前年同期比24億65百万円増、同41.9%増)となり、四半期純利益は56億35百万円(前年同期比17億22百万円増、同44.0%増)となりました。

なお、中間配当金は1株につき6円50銭とさせていただくことといたしました。

当第2四半期連結累計期間における報告セグメントの概況は以下のとおりです。

[農薬事業]

国内農薬販売では、新製品6剤の販売を開始し品目ポートフォリオの拡充を図るとともに、園芸用殺虫剤「フェニックス」、水稻用殺菌剤「ブイゲット」を始めとする自社開発品目の普及拡販に努めました。「ブイゲット」は新たな殺虫剤との混合剤を投入し売上高が伸長しました。農薬原体販売では園芸用殺虫剤「コテツ」、「ハチハチ」などの主力品目の当用期に向けた販社への出荷が好調に推移しました。また、消費税率引き上げに伴う前倒し受注もあり国内販売全体の売上高は前年同期を上回りました。

海外農薬販売では、アジア地域の主要市場である韓国、中国およびインドでの病害虫の小発生や天候不順による過年度の流通在庫などから売上高が伸び悩みました。一方、米州ならびに欧州では販売が好調に推移しました。品目別では米国で殺ダニ剤「ダニトロン」が昨年のダニの多発生から荷動きが早まり売上高が伸長しました。さらに、フェニックス原体の販売増加や為替が円安基調で推移したことなどから海外販売全体の売上高は前年同期を上回りました。

これらの結果、農薬事業の売上高は325億72百万円(前年同期比67億65百万円増、同26.2%増)となり、営業利益は77億60百万円(前年同期比20億37百万円増、同35.6%増)となりました。

[農薬以外の化学品事業]

化学品事業では、シロアリ薬剤の出荷が順調に推移しました。また、医薬品事業では、今期より外用抗真菌剤「ルリコナゾール」の米国ならびに中国での販売を開始し売上高が伸長しました。

これらの結果、農薬以外の化学品事業の売上高は14億96百万円(前年同期比3億55百万円増、同31.2%増)となり、営業利益は6億92百万円(前年同期比3億39百万円増、同96.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ183億48百万円増加し、774億16百万円となりました。これは、農薬の需要期となる第2四半期の季節的変動による売上債権の増加及びのれんの増加が主な要因です。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ131億78百万円増加し、320億11百万円となりました。これは、仕入債務の増加及び短期借入金の増加が主な要因です。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ51億69百万円増加し、454億5百万円となりました。これは、四半期純利益による利益剰余金の増加が主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年9月期の連結業績予想につきましては、平成26年4月22日に開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しませんが、当第2四半期連結会計期間より、株式会社アグリマートの議決権を100%取得したため、同社を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,860	9,619
受取手形及び売掛金	12,455	25,325
有価証券	5,000	—
商品及び製品	5,819	6,902
仕掛品	462	469
原材料及び貯蔵品	1,744	2,880
その他	1,936	9,283
貸倒引当金	△3	△32
流動資産合計	39,277	54,448
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,633	4,761
機械装置及び運搬具(純額)	1,860	1,747
土地	5,565	5,565
その他(純額)	1,100	1,045
有形固定資産合計	13,161	13,120
無形固定資産		
のれん	—	2,717
その他	921	923
無形固定資産合計	921	3,640
投資その他の資産		
投資有価証券	4,286	4,786
その他	1,436	1,435
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	5,707	6,205
固定資産合計	19,790	22,967
資産合計	59,068	77,416

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,771	9,265
電子記録債務	469	1,122
短期借入金	894	8,483
未払法人税等	1,949	2,435
賞与引当金	661	594
営業外電子記録債務	114	30
その他	4,929	4,484
流動負債合計	12,791	26,416
固定負債		
長期借入金	2,100	1,800
退職給付引当金	1,912	1,857
その他	2,027	1,936
固定負債合計	6,040	5,594
負債合計	18,832	32,011
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,939	10,939
資本剰余金	13,235	13,235
利益剰余金	16,374	21,441
自己株式	△1,665	△1,722
株主資本合計	38,884	43,894
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,090	1,134
為替換算調整勘定	39	152
その他の包括利益累計額合計	1,130	1,287
少数株主持分	220	223
純資産合計	40,235	45,405
負債純資産合計	59,068	77,416

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)
売上高	28,028	35,061
売上原価	15,948	19,449
売上総利益	12,079	15,612
販売費及び一般管理費	5,985	7,220
営業利益	6,093	8,392
営業外収益		
受取利息	2	5
受取配当金	25	26
不動産賃貸料	37	38
持分法による投資利益	33	34
その他	28	33
営業外収益合計	127	139
営業外費用		
支払利息	13	27
為替差損	154	19
たな卸資産廃棄損	97	38
その他	72	96
営業外費用合計	337	182
経常利益	5,883	8,349
特別利益		
投資有価証券売却益	25	—
特別利益合計	25	—
特別損失		
固定資産処分損	46	13
特別損失合計	46	13
税金等調整前四半期純利益	5,862	8,335
法人税等	1,931	2,678
少数株主損益調整前四半期純利益	3,931	5,657
少数株主利益	19	21
四半期純利益	3,912	5,635

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,931	5,657
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	520	43
為替換算調整勘定	280	79
持分法適用会社に対する持分相当額	3	37
その他の包括利益合計	804	160
四半期包括利益	4,736	5,817
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,690	5,792
少数株主に係る四半期包括利益	45	25

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,862	8,335
減価償却費	551	591
のれん償却額	—	186
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△59	△57
賞与引当金の増減額(△は減少)	△38	△67
受取利息及び受取配当金	△28	△32
支払利息	13	27
売上債権の増減額(△は増加)	△9,649	△12,527
たな卸資産の増減額(△は増加)	△337	△2,065
仕入債務の増減額(△は減少)	4,872	5,802
その他	14	△7,399
小計	1,199	△7,207
利息及び配当金の受取額	46	28
利息の支払額	△7	△23
法人税等の支払額	△459	△2,324
営業活動によるキャッシュ・フロー	778	△9,527
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△680	△836
無形固定資産の取得による支出	△39	△2,670
投資有価証券の取得による支出	—	△360
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△477
定期預金の預入による支出	△500	△66
定期預金の払戻による収入	—	67
その他	103	△60
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,116	△4,403
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	3,034	7,785
短期借入金の返済による支出	—	△94
長期借入れによる収入	3,000	—
長期借入金の返済による支出	△400	△400
リース債務の返済による支出	△37	△44
自己株式の取得による支出	△7	△57
配当金の支払額	△301	△568
少数株主への配当金の支払額	△13	△22
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,274	6,597
現金及び現金同等物に係る換算差額	143	86
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	5,079	△7,246
現金及び現金同等物の期首残高	7,226	15,484
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,306	8,237

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	農薬	農薬以外の 化学品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	25,807	1,141	26,948	1,079	28,028	—	28,028
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	—	2	423	425	△425	—
計	25,809	1,141	26,950	1,503	28,453	△425	28,028
セグメント利益	5,722	352	6,075	293	6,368	△274	6,093

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、造園緑化工事、スポーツ施設経営、不動産の賃貸、物流サービス、農薬残留分析ほかを含んでいます。

2 セグメント利益の調整額△274百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△294百万円、未実現利益の調整等19百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年10月1日 至 平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	農薬	農薬以外の 化学品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	32,572	1,496	34,069	992	35,061	—	35,061
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	—	2	475	477	△477	—
計	32,574	1,496	34,071	1,468	35,539	△477	35,061
セグメント利益	7,760	692	8,452	231	8,684	△292	8,392

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、造園緑化工事、スポーツ施設経営、不動産の賃貸、物流サービス、農薬残留分析ほかを含んでいます。

2 セグメント利益の調整額△292百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△310百万円、未実現利益の調整等18百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「農薬」セグメントにおいて、平成25年10月に I S E M社 (イタリア) との間で I S E M社が所有する除草剤「オルトスルフアムロン」を譲り受け、また「農薬以外の化学品」セグメントにおいて、平成26年1月に株式会社アグリマート (旧 アリスタライフサイエンスアグリマート株式会社) の株式を取得したことにより、のれんが発生しております。当第2四半期連結累計期間におけるのれんの増加額は2,717百万円であります。